



令和5年度

6月 三大幼だより

江東区立第三大島幼稚園

令和 5年 5月 31日



三大幼 HP は
こちらから



自己肯定感を育む保育のデザイン

園長 安田 徳章

正門を入ってすぐの左手にあるアジサイが、日に日に色づいてくる様子に季節の移ろいを感じます。アジサイの他にもパンジーやカラー、ユリなど、草花を育てることが得意な主事たちのおかげで、本園の園庭や塀の外側周辺には色とりどりの花であふれています。そして、様々な鳥の声も聴こえてきて、まさに園歌の歌いだし「花がいっぱい 咲いてます 小鳥がたのしく 歌います」の美しい情景が目の前に展開されています。手前味噌ではありますが、こどもたちの遊び生活するにふさわしい環境になっている幸せを感じられる自慢の園庭です。

5月の連休明け以降から、園庭にあるうんていや登り棒などの固定遊具で、年中児ができるようになったことをしきりとやってみせてくれています。すぐ近くでは、年長児が見本をみせるかのように慣れた身のこなしで登り棒の高いところまで登っていく姿もみられます。その様子を見て、さっきよりもっと上まで登る年中児もいます。頑張った分だけ目指すところまで自分の力で行くことができる喜びを感じている素敵な姿です。

このような、「自分でできた」「もっと上まで登ってみたい」などの達成感や次への意欲を、周囲の友達や大人も共に感じたり喜び合ったりするなどしていくことは、自己有能感を強く感じる機会となり、自己肯定感を育むことにつながっていくと考えられます。乳幼児期に、このような機会をたっぷりと得られるようにしたいものです。

本園では昨年度に引き続き、研究テーマを「自己肯定感を育む保育のデザイン」として園内研究を進めていきます。「自己肯定感」をどの幼児も確かに育てていくことができるよう、研究を通して幼児理解を一層深くし、援助や環境の在り方などの保育全体を構想する保育のデザインについて考えていきたいと思えます。保護者の皆様には、研究保育による保育時間の変更等で、ご協力をお願いすることがあるかと思えます。ご理解の上、ご協力をお願いいたします。



今月の指導のポイント



年中りんご組

登園すると自分で身支度を行い、好きな遊びを楽しむ姿が増えています。また、同じ場にいる友達と同じ物を作ったり、一緒に遊んだりすることを楽しんでいる姿も見られます。引き続き、教師や友達との関わりを十分に楽しめるように援助していきます。思いが上手く伝わらない場面では、教師が互いの思いに気付けるように橋渡しをしています。少しずつ、伝え方や言葉を知らせ、関わられるようにしていきます。

今月は、水遊びが始まります。プールだけでなく、暑い日には色水や砂場で水を使って遊ぶなどし、水の気持ちよさを感じられるようにします。水遊びの支度や、着替えの始末の仕方などを再度確認し、自分で取り組めるようにしていきます。

年長にじ組

梅雨の時期になると、室内で遊ぶことも増えてきます。年長組から使い始めた大型積み木や巧技台などが安全に使えるよう、友達と声を掛け合って遊びを進める姿を認めたり、約束を再確認したりしていきます。

遊びの中で、友達の言葉に耳を傾け、聞こうとしている姿を認めたり、一緒に考えていけるよう橋渡しをしたりしていききたいと思えます。また、友達の考えを取り入れることで遊びが面白くなることに気付いたり、受け止められた嬉しさを感じられるようにしたりしていききたいと思えます。

プール遊びが始まります。水に慣れ親しみ、解放感を味わう中で、自分なりにめあてをもって取り組めるようにしていきます。